

たくようだより



たくよう

平成25年12月

No.62

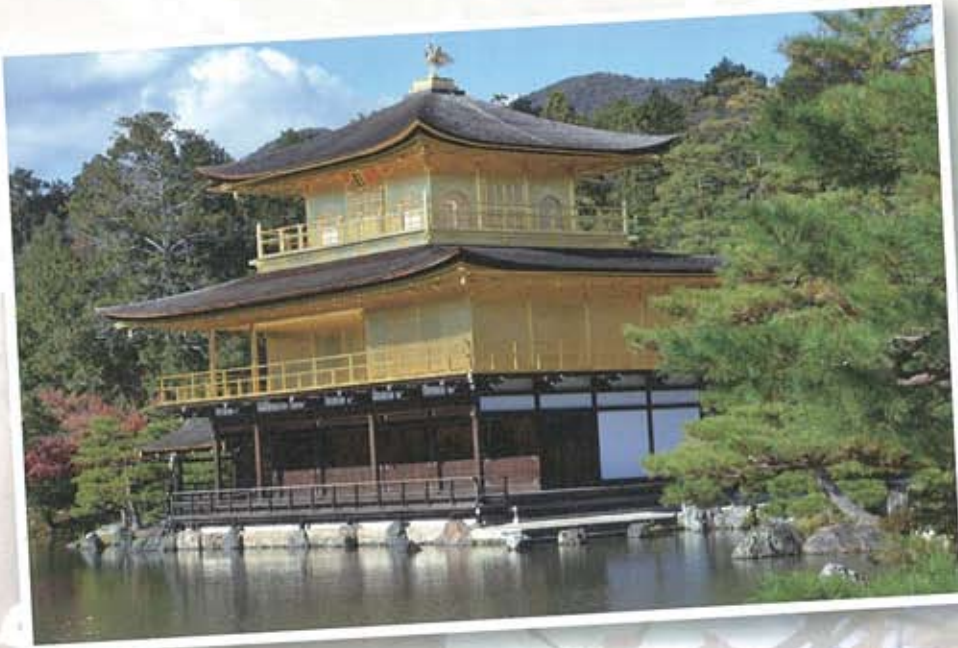
秋・冬号

障がい者支援施設・就労継続支援B型事業所 新葉学園
ワークキャンプ樋脇
共同生活援助事業所 第1・第2 拓洋ホーム

発行者 社会福祉法人 拓洋会

薩摩川内市樋脇町塔之原5270

TEL:0996-37-2861 FAX:0996-37-2981



安心・安全・快適な暮らしを守る

総務課長 内 匠 敏 行

つい先日まで続いた猛暑の夏から一転、季節は秋の風情をゆっくりと楽しむ間もなく一気に冬へと移り変わり、今年も残すところ後わずか、また慌しい年の瀬を迎えています。

私たち拓洋会が、ここ樋脇町に新葉学園を開設してから、もうすぐ三十年。授産施設・福祉工場として長年取り組んで参りましたが、平成二十四年三月、新法における新事業体系へと全面移行し、新たな枠組みの中で施設のあり方を模索しながら現在も日々取り組んでいます。また地域の方々とも園内行事や地域イベント等を通じて幅広く交流させて頂く中で、これまでも多くの方々のご支援を賜りながら安心・安全な暮らしを見守り続けて頂いております。今後も地域に根ざした施設づくりをモットーに、さらに地域福祉の担い手として地域貢献出来るよう取り組んでいきたいと思えます。

今まさに私たち障がい福祉を取り巻く現状は大きな変革の時を迎え、今年四月一日からは「障がい者総合支援法」が新たにスタートしました。国は障がい者の高齢化・重度化について、さらにグループホーム・小規模入所施設等を含めた地域における住居支援等のあり方についても早急に検討を行っていくということです。制度として今後どのように具体化されるかは全く不透明です。

私たち拓洋会としても、しっかりと福祉の動向を見据えながら、まず施設を利用されているご本人・ご家族の思いをしっかりと受け止め、その思いに全力でお応え出来るよう、今後も職員一人丸となって取り組んでいきます。これからも当法人が提供する福祉サービスを「利用したい」「利用して良かった。」と満足して頂けるような質の高い福祉サービスの提供に拘り、今後も多くの方々が必要とされる魅力的な施設づくりを目指し、さらに気合いを入れて取り組んで参りますので宜しくお願い致します。

第二十八回 拓洋会大運動会

10/26

支援員 乙須 恒平

去る十月二十六日(土)、拓洋会大運動会が盛大に行われました。前日の午前中まで雨が続き開催できるか心配されましたが、利用者の皆さんの強い思いが天に届いたようで、当日は晴天に恵まれ絶好の運動会日和となりました。

利用者の皆さんの元気いっぱいの入場行進を経て、紅白の白熱した戦いが始まりました。徒歩では壮絶なデットヒートがたくさん見られ、風を切る音が聞こえてきそうな程の真剣勝負。綱引きでは両組とも顔を真っ赤にしながら力強く綱を引き、綱からギシギシと音が聞こえる等、一進一退の攻防が繰り広げられました。

また毎年恒例の保育園生遊戯では、善福寺保育園の園児さん達が可愛らしい遊戯を披露され、会場も和やかな雰囲気になり運動会に華を添えてくれました。

見どころたくさんさんの運動会となりましたが、特に利用者さんには「魔の十三段」が好評で「おもしろかった」「また来年もやりたい」等の感想が聞かれました。近年利用者さんの高齢化に伴い、本格的な競争種目からレクリエーション種目へと移行しつつあります。しかしどの競技も楽しみながらも一生懸命に頑張る姿が見られ、来年も楽しんでもらえるような競技を考案していきたいと強く感じるところでした。

今回大運動会が大盛会に終わりましたのも、地域の皆さんやボランティア、善福寺保育園の皆さん等多くの方々の協力によるものと感謝致しております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

利用者 瀬戸口 涼平さん

はじめての運動会でした。一番楽しかったのは、「家族リレー」でした。ピリだったけどすごく楽しかったです。二番目に楽しかったのは、「まの十三段」でした。かなりくたくたくしておもしろかったです。白組が優勝してすごうれしかったです。



▲親子で息を合わせて



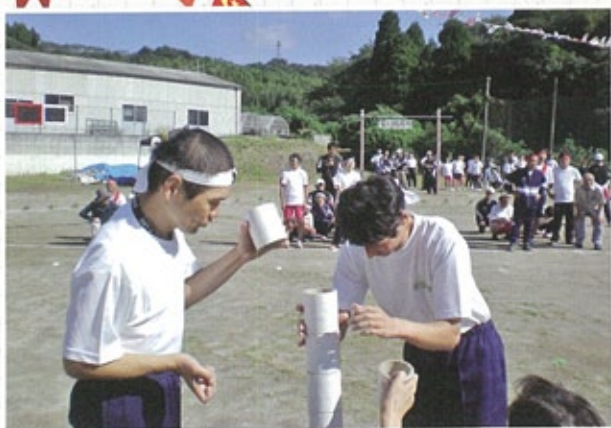
▲注目の大玉転がし



▲デカバン1等賞☆



▲エイサー!!!



慎重に…あつ!



ボランティアの皆さんと♪

第二十二回 北薩地区ふれあい スポーツ大会

9/18

利用者 豎山 弘樹さん

去る九月十八日出水市で行なわれた北薩地区ふれあいスポーツ大会に出場しました。一〇〇メートル走と五〇メートル走はいずれも一着でした。四〇〇メートルリレーでは、僕が第一走者で第二走者は宮原君で第三走者は元氣君で最終第四走者は秋夫君でした。男子に続き女子も四〇〇メートルリレーは着でした。男女とも揃ってアベック優勝でした。とても楽しい大会でした。



▲ 緊張の第一走者!

全国障がい者スポーツ大会in東京

10/12~14

利用者 敷根 春子さん

私は全国障がい者スポーツ大会に参加し、ソフトボール投げと立ち幅跳びに出場しました。練習不足で上手く記録が伸びなくて悔しかったけど、結果的には金メダルが取れてとても嬉しかったです。ボランティアの人たちともたくさん交流がはかれて楽しく過ごせました。これからはもっと練習して記録を伸ばしていきたいです。すごく楽しくできてよかったです。



▲ お見事!金メダル

利用者 小澤 陽子さん

今年の全国障がい者スポーツ大会に初出場して、とにかくとても緊張しました。それで大会日目の八〇〇m走で、つい気があせってミスしてしまったことを深く反省しています。でも、四〇〇m走で県大会よりも記録が上がって二位という結果でメダルが取れてよかったです。

大会期間中、ずっと都内の実施本部の方や大学生ボランティアの方達と楽しく交流でき、また、大好きなEXILEのステージを生で見る事が出来て華麗なダンスなどもあって、お祭りみたいで盛大な大会でした。これからも、少しずつトレーニングをして、来年の大会に向けて走る練習を続けていきます。



▲ 思わずにっこり♪



▲ 結団式

施設職員親善 ソフトボール大会

8/10

支援員 藤崎 照矢

去る八月十日(土)、桜島溶岩グラウンドで施設職員親善ソフトボール大会が開催されました。今年は、優勝を合言葉に暑い中ではありますが、熱戦を繰り広げなんとか予選突破し、決勝戦へとコマを進める事が出来ました。決勝は、ときわの家さんとの対戦でスローピッチでの戦いとなり、最終回二点差で負けてはいたのですが、新葉学園の松井秀喜がホームランを放って同点となり、試合はタイブレイク方式の延長戦へ。最後は、まさかのサヨナラ満塁ホームランで劇的勝利を収める事が出来ました。何度か優勝を重ねて来ましたが、今大会が一番記憶に残る大会となりました。大会に携わった全ての方に、感謝します。



◀ さあ来い!



▲ 優勝おめでとう!!!

夏祭り

7月27日



支援員 鶴崎 祥一

去る七月二十七日(土)に拓洋会夏祭りが開催されました。今年は全国的に厳しい猛暑が続き、夏祭り直前になって夕立ちにも見舞われるなど準備が思う様に進まなかったのですが、当日は天候に恵まれて無事に開催することができました。

今年、ゲストに役所之衆(やつしよんし)、ゆう子ジャズダンスカンパニー、Jr. ストリートジャズダンス、若ふじ舞踊、八重咲同好会、フラ・レファ・クラブの方々を迎え、夏祭りを盛大に盛り上げて頂きました。利用者の方々もカラオケを熱唱され、フラダンス、太鼓も日頃の練習の成果を発表する良い機会になったと思います。

また、今年初めての試みで、手造りの竹灯籠展示を行い、作り方を教わりたいとの意見も多数あり、たいへん好評でした。そして、FMさつまさんのPRの効果があったのか、去年より来場者数が多く、出店についても盛況で、ほとんど完売の状態でした。

最後になりましたが、ご出演頂いた皆様をはじめ、ご家族、地域の方々にご支援ご協力をいただき誠にありがとうございました。



▲ ベストパフォーマンス!

利用者 今東 惣二郎さん

夏祭りで思い出に残ったのは、やっぱり見にいられていたお客さんの数がすごく多かった事です。それから、J・I・P・O・Pのダンスや市役所の人達のダンスやフラダンスなどのステージを披露してくださった方々が、ものすごくかっこよかったです。

出店の数は多くはなかったけれど良い品物もいろいろあったので良かったです。あと、司会者も上手くて緊張もしていなかったのが良かったです。自分もいつかは、夏祭りの司会者が出来たら良いなと思います。あと、少し歌を間違っただけですが、かきかたけれど、もっと上手になって来年もう一度チャレンジしたいと思います。



▲ 迫力のダンスとサウンドで会場を魅了☆



▲ 拍手喝采!



▲ 迫力満点!ハンヤロック



▲ 熱唱♪

B型利用者慰安旅行

長崎方面

11月22日
・23日

B型事業課長 野村 昌弘



長崎旅行は、以前にも何度か実施していましたが、今回は趣向を変えてハウステンボスの夜のイルミネーションや海上自衛隊の護衛艦見学などの貴重なツアーを取り入れてみたところ、皆さん大変喜ばれており一味違う長崎の旅を満喫できた事と思います。

特にハウステンボスでは、世界最大級を誇る無数の光に包まれた幻想的な空間の中で、今話題のプロジェクションマッピングをはじめとする数々のアトラクションを目にする度に大きな歓声と拍手が沸き起こり、皆さんの感受性が養われた良い機会だったと感じます。

二日間共、天候に恵まれ、事故も無く楽しく過ごせた事に職員一同が胸を撫で下ろしています。皆さん本当にお疲れさまでした。また、こうして毎年旅行を実施できるのは、日々継続して就労できていられるからこそであり、取引先や関係機関、そしてご家族のご理解に心から感謝しているところです。



△護衛艦「ひんつう」で記念の一枚!



△光の王国で海外旅行の気分!

関西方面

11月28日
~30日

支援員 久保 真彩

十一月二十八日〜三十日の三日間、B型利用者二十九名の方が関西方面の慰安旅行に参加されました。初日は、神戸異人館巡りや中華街散策などを堪能し、鹿児島とは違った街並みを味わう事ができました。

二日目の京都観光では、清水寺、金閣寺、東映太秦映画村を訪れ、大変美しい光景に皆さんから感嘆の声も聞かれ、日本特有の素晴らしい光景を目にすることが出来、良い経験になったと思う事でした。

最終日のユニバーサル・スタジオ・ジャパンでは、様々なアトラクションやパレードは勿論、キャラクターと一緒に写真撮影をするなど時間の許す限り楽しまれました。

三日間の行程を終えた今も、土産話が尽きないようですが、また来年も良い思い出が作れるよう新たな企画に取り組んで参りますので、皆さまのご協力とご理解を頂きますようお願いいたします。



△臨場感溢れる映画村で



▲最終日はUSJを満喫!



△紅葉の清水寺

生活班キャンプ in 指宿

7月11日
・12日

支援員 小川 淳

以前からキャンプを体験してみたいという意見が多く、そしてまだ一度も体験した事が無い方も多かった為、今年は趣向を変えてキャンプを実施しました。

場所は、指宿かいもん山麓ふれあい公園。キャンプ場としては、設備が整っている大規模施設で初心者でも安心して利用する事が出来ました。

一日目は、そば打ち体験やバーベキューを堪能され、自由散策では、各々バターゴルフ、ゴーカート、アスレチック、カラオケを楽しまれました。

二日目の朝食は、簡単な朝食作りに挑戦して頂きました。皆さんにとっては、慣れない経験でもあり、不安げな様子も窺えましたが、それぞれ職員がそばで声掛け、見守ることで調理から食事まで皆さん楽しいひとときを過ごす事が出来ました。途中、池田湖にて昼食を済ませた後、無事に全員帰園する事が出来ました。

今回、キャンプ体験を通して、自主性や協調性を育くむことが出来たのではないかと感じました。今後もしもキャンプに限らず、いろいろな事に目を向けて満足して頂けるよう努めていきたいと思えます。



△夕食はBBQ!



△池田湖&開聞岳をバックに☆

思い出アルバム

写真は楽しい活動の一部です



△ 温泉区遊湯クラブ交流会
(グラウンドゴルフ大会)



△ 玄海庵三特別公演



△ ちぎり絵教室♪



△ イースタンリーグ公式戦観戦!



△ 田内川花火大会



△ 薩摩中央高等学校の実習生の皆さん



△ 歩エウ会@入来町



△ 中学生サマーボランティアの皆さん



△大人気!ホワイトタイガー



▲ @平川動物公園



△見事ハイジャンプ



▲ @かごしま水族館

生活班 屋外活動 平川動物公園&かごしま水族館



11月13日・19日・26日

利用者 福山 雄亮さん

僕は11月13日第一班で、平川動物園に行きました。僕が見た動物はキリン・コアラ・フラミンゴ・ペンギン・ラクダ等で、その中でホワイトタイガーが見れた事が一番嬉しかったです。帰りに売店に寄ってお土産を買いました。とっても楽しい一日でした。

利用者 児島 芳恵さん

当日は天気がいにくの雨となってしまう、動物園に行くはずが、水族館に出掛けました。バスで鹿児島市内の方に行くと空が晴れてきたので、行き場所が変わらないかなと期待しました。水族館ではイルカショーの所でご飯を食べた後、ジンバイザメやイルカや他の魚を見て周り、皆と楽しい一日を過ごしました。

ちぎり絵作品展見学 11月21日

利用者 山崎 ますえさん

11月21日川内のまごころ文学館において、ちぎり絵の展示会が行われました。中に入ってみれば、新葉学園の作品がずらりと飾ってありました。皆、嬉しそうに自分の作品の前で写真を撮ったりしていました。また、外部の人達のちぎり絵も素晴らしく、とても良かったです。これからもまだまだ素晴らしいちぎり絵と一緒に作っていきたくらいと思います。



▲ たくさんの作品が展示してありました◎



▲ @川内まごころ文学館

薩摩川内市 7月18日 ふれあい障害者福祉大会

世話人 徳地 朋子

7月18日、サンアリーナにて「薩摩川内市ふれあい障害者福祉大会」が行われ、新葉学園の利用者9名、ボランティア7名、職員2名の総勢18名でフラダンス2曲を披露し、会場に花を添えました。短い練習時間でしたが、当日は綺麗にメイクし、素敵な衣装を身に付け上手に踊れたと思います。

沢山の拍手を頂き、利用者、ボランティアの皆さん共に感動と満足感でいっぱいでした。とても良い経験をさせて頂きました。



▲ アロハ〜♪

よかいも収穫祭 11月6日・7日

主任生活支援員 野村 由紀

11月6日・7日の2日間でさつま芋の収穫を行いました。30アールの圃場で大切に育てられた約3,500本の苗。すくすくと順調に成長し、約1.5トンのさつま芋が収穫できました。立派に成長した大きなさつま芋は山元酒造に運ばれ、来年の2月頃に7代目「ひわきの拓寿」として発売される予定です。

今年のよかいも収穫祭は、天候の関係で全利用者に参加していただくことができませんでしたが、利用者の皆さんには「ふかし芋」をご賞味いただきました。昨年までは「紅乙女」を育てていましたが、今年は初めて「紅はるか」という品種に挑戦しました。私もふかし芋をいただきましたが、上品な甘さがあり、しっとりとした食感でした。そんな「紅はるか」で仕込まれるオリジナル焼酎「ひわきの拓寿」。仕上がりが今から楽しみでなりません。

最後になりましたが、収穫祭にお越しく下さいました、善福寺保育園の園児の皆さん、先生方、ご協力ありがとうございました。



▲ 大きなお芋掘れるかな?

総合防災訓練

7/23

支援員 田代 義信

七月二十三日(火)、東部消防署職員の立会いのもと、総合防災訓練が実施された。今回は、パン工場から出火したという想定で一連の通報訓練、避難訓練はもとより、消火器・屋外消火栓を用いて消火訓練も実施し、職員は緊張しながらも真剣に機敏に行動していた。

引き続き東部消防署の職員より本日の訓練の感想と講話があった。二月に施設の火事で四名亡くなっているとの話があり、火事で焼かれて亡くなると思われがちであるが、実際は一酸化炭素を吸って動けなくなってしまうケースが多いとの事であった。今後も様々な災害を想定した訓練を定期的に実施していき、職員・利用者一人ひとりが常に防火意識を持ち、拓洋会から絶対に対に火災が発生する可能性があることがない様に努めていかなければならない。



▲緊張感溢れる消火活動!

平成二十五年度 知的障がい者関係職員研修会

支援員 松林 鉄志

去る平成二十五年十一月七日(八日)の二日間に渡りホテル京セラにおいて、平成二十五年度知的障がい者関係職員研修会が開催された。

一日目は個別支援計画の考え方・書き方の説明があり、後半は四つの分科会に分かれてグループ毎に事例について協議及び発表を行った。その後、参加者全員で交流会が行われ、他の施設の方と意見交換をしながら親睦を深めることが出来一日目が終了した。

二日目の午前中は中堅職員の役割、新人職員の育成、リーダーシップについての説明があり、午後から「新たな障がい支援区分について」と題して来年四月から改正される判定の内容についての説明があり二日間に渡る研修会が終了した。

今回の研修で学んだ事や他施設の支援員との意見交換で、大変勉強になった反面、自分の知識不足を痛感させられた。変わりゆく福祉の制度へ対応出来る様に知識を身につけると共に、施設の利用者に満足してもらえる支援ができるよう努力していきたい。

新利用者紹介



利用者 宮牧 すみえさん

まだ、わからないことばかりですが、よろしくお願ひします。
仕事を頑張っていきながら、早く友達も欲しいです。
みなさん、話相手になってください。

11/7 ~8

平成二十五年度 施設内研修

第三回

平成二十五年九月五日(木)

テーマ「新葉学園における訪問診療について」

講師 歯科医師 南谷 香澄様

「歯周病について」

講師 人権擁護委員 小川 淳

人権擁護委員 乙須 恒平

平成二十五年十一月七日(木)

テーマ「人権擁護研修(伝達研修及びアンケート結果報告)」

講師 人権擁護委員 小川 淳

人権擁護委員 乙須 恒平

講師 主任生活支援員 水谷 恵美子

基本情報確認について

各利用者の

テーマ「相談支援事業における

各利用者の

基本情報確認について

講師 主任生活支援員 水谷 恵美子

基本情報確認について

各利用者の

テーマ「相談支援事業における

各利用者の

基本情報確認について

講師 主任生活支援員 水谷 恵美子

基本情報確認について

各利用者の

テーマ「相談支援事業における

各利用者の

基本情報確認について



新任職員紹介



世話人 柿内 トモ子

九月よりグループホームの世話人として働かせて頂いております、柿内トモ子です。福祉の仕事は初めて携わることとなりました。他の世話人や職員の方の指導のもとで色々身についていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。

編集後記

今年も残すところ僅かとなりました。地方各地では災害・事故等のニュースも増えてきています。忙しい時季ではありますが、お身体に十分気を付け、無事に新年を迎えられる事を願っております。

さて、たくようだより「秋・冬号」が出来上がりました。今後も充実した内容をお届け出来るよう取り組んで参りますので宜しくお願いします。

【広報委員会】

- | | |
|-----|----------|
| 利用者 | 福山 雄亮さん |
| 職員 | 福原 ひとみさん |
| 職員 | 野村 昌弘 |
| 職員 | 小川 淳 |
| 職員 | 宇田 千鶴 |
| 職員 | 久保 真彩 |
| 職員 | 松林 鉄志 |

お知らせ



＜表彰＞
内匠課長が、薩摩川内市社会福祉協議会より表彰を受けました。

＜退所＞
宇野 聖地さん(10月末)